

令和4年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	1年普通科・理数科
教科書	大修館書店「言語文化」	副教材等	完全マスター古典文法(第一学習社) 漢文必携(桐原書店) 身につく古文レベル1(Z会)など

1 学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4 5	【知識・技能】 ・文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現など[(2)ウ] 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」異なる時代に成立した作品を読み比べ、それらを比較して論じる力	1 古文に親しむ	児のそら寝 絵仙師良秀	・説話のおもしろさを味わう。 ・文語のきまりを理解し、古文に親しむ。 ・歴史的仮名遣いの読み方を理解し、古文を音読する。(単元の言語活動) ・用言の文法事項を理解する。 ・登場人物の人物像について考える。	テキストの音読 応答と発問 意見発表 課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査 振り返りシートなど
6	【知識・技能】 ・常用漢字の使用。[(1)イ] ・読書の意義と効用。[(2)カ] 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」	2 言葉の紡ぐ世界	羅生門(芥川龍之介) 読み比べ 「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語」(『今昔物語集』) 定期考査	・近代日本文学への入門的な短編を通して、内容や展開を的確に捉えることを学ぶ。 ・舞台設定・構成・描写に注目する。 ・常用漢字を文や文章の中で使う。 ・本文と『今昔物語集』を比較しながら、「下人」の行動について、肯定・否定の立場に分かれて議論し、考えを深める。	授業の取組 テキストの音読 応答と発問 意見発表 課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査 振り返りシート 等
7	【知識・技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などの理解 ・文語のきまりや訓読のきまり 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」内容や構成、展開などを的確にとらえる ・「読むこと」我が国の言語文化について自分の考えをもつ。	1 漢文に親しむ	論語・孟子 訓読のきまり① 返り点の種類と用法 訓読のきまり② 再読文字の種類と用法 訓読のきまり③ 訓読のきまり④ 再読文字の種類と用法	・漢文の世界に分け入って、言語文化への関心をもつ ・訓読のきまりについて基本的な事項を学ぶ (返り点、再読文字、助字など) ・『論語』について書かれた文章を読み、『論語』についての理解を深める。 ・『論語』や『孟子』の名言を味わい、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。	授業の取組 テキストの音読 応答と発問 意見発表 課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査 振り返りシート 等
	【知識・技能】 ・言葉の働き ・我が国の文化と外国の文化との関係 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」	2 現代に生きる言葉	蛇足(戦国策) 定期考査	・音読して漢文訓読のリズムに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・故事成語の意味や日本への影響を理解する。	授業の取組 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査 振り返りシート 等
9	【知識・技能】 ・言葉の働き・我が国の言語文化の特質の理解 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」・「書くこと」	5 日本と世界	外国語の不思議 日本語の不思議	・本文を読んで、日本語・英語・フランス語の特徴をまとめる。 ・筆者の意見を読み取る。 ・外国の文化をすることを通して、自国の文化や言葉について考えたことを発表原稿にまとめ、発表する。	応答と発問 プリントや課題の提出 発表原稿 など
10	【知識・技能】 ・作品の歴史的・文化的背景 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」・「読むこと」	2 自然へのまなざし	徒然草をりふしの移り変はるこそ 定期考査	・作者が季節の移ろいを感じている景物や年中行事を知る。 ・作者の感動の内容を読み取る。・作者の心情の変化を読み取る。 ・エッセイを書く	授業の取組姿勢 応答と発問 ノートの整理 考査などの成績 エッセイ

11	【知識・技能】 ・本歌取りなどの和歌の修辞技法 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」	4 人との交わり	伊勢物語 あづ ま下り(参考)かき つばたの折句	・旅の行程を整理する。 ・物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 ・和歌の修辞技法と、その効果を理解する。 ・物語中に表される古典世界の恋愛・結婚のあり方をとらえる。	授業の取組姿勢 応答と発問 ノートの整理 考査などの成績 創作
12	【知識・技能】 ・語感や語彙力 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」	6 文学と人生	城の崎にて 定期考査	・主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解する。 ・死生観について考える ・作者の他の作品についても読み比べる。	授業の取組姿勢 応答と発問 ノートの整理 考査などの成績 他の作品
1	【知識・技能】 ・訓読のきまり、古典特有の表現 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」	6 旅と人生	土佐日記 門出 更級日記 あこがれ	・旅にでるまでのならわしについて知る。 ・日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考える。 ・旅立ちに際しての思いを読み取る。 ・作者にとって京への旅がどのような価値をもつものであったのかを理解する。	授業の取組姿勢 応答と発問 ノートの整理 考査などの成績
2	【知識・技能】 ・作品や文章の歴史的・文化的背景。 ・漢詩の形式や表現技法 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」	3 想いを表す言葉(二)	【友情】送汪倫／ 送元二使安西／ 過故人莊 【人生】涼州詩／ 月夜／香炉峰 下、新ト山居、草 堂初成、偶題東 壁 定期考査	・漢詩の形式や詩の表現の特徴を理解する。 ・自然をうたった詩、友情をうたった詩、人生をうたった詩を、それぞれ読み味わい、表現の工夫をとらえる。	授業の取組姿勢 応答と発問 ノートの整理 考査などの成績 他の作品
3					

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。[(1)ア] ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。[(1)イ] ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。[(2)ア] ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。[(2)イ] ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。[(2)ウ] ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。[(2)オ] ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)カ]
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア] 「読むこと」 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。[B(1)ア] ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。[B(1)イ] ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めている。[B(1)エ] ・作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。[B(1)オ] ・作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。[B(2)イ] ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動。[B(2)ウ]
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 ・漢文訓読のきまりを理解しようとしている。 ・『論語』『孟子』に興味をもち、現代に生きている言葉や考え方について理解しようとしている。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、広い視野から国際理解に臨む姿勢をもち、我が国の言語文化をあらためて見直そうとしている。など

4 評価の方法

上記「評価材料」から、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に照らし合わせ、総合的に評価する。なお、評定は観点別評価を総括するものとする。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

授業では、黒板や答えを写すだけでなく、必ず自分で考える習慣をつけましょう。そして、自分の意見と他者の意見を比べることによって、自分の考えを深化させましょう。古典は、高校生になって本格的に勉強する科目です。基礎・基本の定着に努めれば、必ず読めるようになります。予習・復習(特に復習)を大事にして、わからないことを先延ばしにしないようにしましょう。